

その他の食料品製造業における荷姿の物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	8~9	工場内において、米のフレコンパック（1,000kg）をクレーンでつり上げ、米のフレコンパック下部の紐をほどき中身を排出する作業中に、クレーンにつるす紐が切れ、米のフレコンパックとガードパイプの間に頭が挟まれた。	56	100~299
1	11~12	加入用の麺が入った番中（約10kg）を無理な姿勢で持ち上げたところ、腰（左側）に突然痛みを感じた。動けないほどでもなかったので仕事を続けたが、痛みが増し、ぎっくり腰および筋損傷と診断された。	53	500~999
2	18~19	包材の交換作業のため、外装を外そうとしたところ、包材が足に落ちた。作業台での交換作業を止め、番重に横置きすることで包材を傾けた状態で作業することをなくした。	19	100~299
2	20~21	加熱の下処理室でしょうゆの箱（10kg）を一気に持ち上げ、中身を樽に移そうとした際に腰に激痛が走り、動けなくなった。	63	300~499
2	3~4	重さ約20kgの番重を持ち作業した。帰宅後痛みを感じたと本人から連絡があり、後日病院へ行った。	23	300~499
2	16~17	被災者は当日の派遣就業先である工場にて業務終了時の清掃を行っていたところ、他の派遣会社のスタッフ2名が運搬するシンクが右ふとももにぶつかり負傷した。原因として、シンクが動くであろう位置に被災者が立っていたところである。その位置に立っていなければ事故は防げた形である。	50	30~49
		当社事業所学校給食センター内において、洗浄中、食缶を洗浄している時に、少し		30

2	15~16	洗浄機から目線を外した際、洗浄機のベルトに食缶が巻き込まれて、食缶の取っ手部分と洗浄機入口に手を挟まれて、左手薬指を負傷した。	52	~ 49
2	10~11	工場内のゴミ集荷場において、ゴミのコンテナ（1200×1800×800cm）をフォークリフトで上げてトラックの荷台に移し替える作業中、足場を作って作業する規定があるにもかかわらず、足場を作る作業を怠ってしまいトラックの荷台からゴミのコンテナに乗り移ろうと足を掛けた際、ゴミのコンテナがバランスを崩して1.2mの高さから落下したものである。	35	~ 99
2	23~24	工場内で容器が入っているダンボールから容器を投入しようとした際に、上部で詰まり、滑って落ちてきたので、下のダンボールとの間で受けようとした際に、挟まり右手中指を痛めた。	62	~ 299
3	11~12	漬物原材料である酒かす（20~30kgの容器に入ったもの）を2人で引き取りに行き、酒かすを運搬中に左足で膝部分に激痛がはしり動けなくなった。	36	~ 29
3	11~12	種子の保管庫において、かいわれ大根の種子のふるい選別をする作業中に、25kgの種子袋を持ち上げようとして手がすべり、後ろ向きに転倒して腰を強打した。	63	~ 299
3	11~12	被災者は、洗浄室内で容器洗浄作業をしていた。洗浄タンク（110mm×80mm×83mm×400 l）が①水洗い②洗剤③すすぎの順に並んでいる。被災者たちは③に洗剤が入ってくるのが気になり、②と③の間を離そうとした。被災者は②を動かそうとタンクの淵に手を置いて別の作業員が①を動かすのを待っていた。別の作業員が①を動かすためタイヤのロックをつま先で外そうとしたが外れなかったため、タイヤの向きを変えようと動かしたところ、②の方に動き、被災者は①と②の縁で左手を挟み負傷した。	45	~ 49
3	16~17	おにぎり製造ラインにて、機械停止中に製品（おにぎり）を両手に持ち移動した際、具材の入ったラックの間を強引にすり抜けようとした為、左足を土台に引っ掛け、横向きに転倒してしまい右肩脱臼をした。	68	~ 299
3	15~16	箱詰め玉ネギを台車に積み移動する際、傾斜で台車が傾いて中の箱が移動し、台	62	~ 30

		車を支えていた左手親指を直撃し負傷した。		49
4	11～ 12	中間コントロール室にて、ソーセージのタレを入れたバット（約5kg）を4段重ねた列から隣の5段重ねた列の上（5段目）に持ち上げようとしたところ、左右の足を捻り大腿部に痛みを感じた。	66	500～ 999
4	9～ 10	本社冷凍庫において積み重なった原料入りのコンテナを庫外へ移動中に、移動を終えたコンテナが不安定に積み重なっていたため背後から足に倒れかかり負傷した。	47	30～ 49
4	14～ 15	パレットに詰まれた材料（ジャスミン原料）を運んで、機械の手前の台に置こうとした時に手を滑らせてしまい、床に落としそうになったので、材料を左手で受け取ろうとした際、床と材料で挟まれてしまい、左手薬指を負傷してしまった。	31	50～ 99
4	15～ 16	洗浄室保管庫からカートごとホテルパンを調理室棚に運んだ際、カートが引っ掛かり、力を入れてカートを動かしたとき、カート内のホテルパンが外に飛び出して足の上に落下した。	70	30～ 49
4	14～ 15	工場1階の番重洗浄室において、2名で番重の洗浄作業を実施していたとき、もう1名の作業者が加工室側から汚れた番重を重ねて台車に載せ、洗浄室の中へ移動させていたところ、その重ねた番重が数枚（2～3枚）被災者の両足の上に落下した。その際、被災者の両足の指から甲の部分に落下した番重で打った。	62	100～ 299
4	15～ 16	工場の洗浄室において、屈んで飯缶の下洗いの作業を行っていたとき、近くに積んでいた飯缶が崩れてきた。その際に、残飯が入った重い飯缶を含め数個が頭頂部と身体にあたった。（飯缶に触れて、崩れたかも知れないが定かでない。）	43	10～ 29
5	13～ 14	営業所にてコンテナ回収作業時に、コンテナをトラック荷台へ積み込む際に、設置済みのコンテナ仕切りバーとコンテナの間に指を挟み込んでしまい、右手人差し指に裂傷を負った。	44	100～ 299
5	10～ 11	開発テストキッチンでほぼ満タンに入ったお茶を沸かした片手鍋を移動させようとして鍋を持ち上げた際に、鍋が重たくバランスを崩して左足にお茶（熱湯約90℃）をこぼしてしまった。	37	300～ 499
				10

5	14～ 15	製造作業が終了した治具（ザル、ボール、エプロン等）一式を洗浄のため洗浄室への移送中、腰を屈めた姿勢で移送していたためバランスを崩し転倒した。	67 ～ 29
5	9～ 10	商品を積んだ番重を台車に載せて出荷場へ移動中、床のくぼみに台車の車輪が引っ掛かり、倒れそうになった番重を支えようとして体勢が崩れて足を挫いた。	21 ～ 299
5	15～ 16	工場1F冷却ライン付近において、加工用酢飯を専用BOX（10kg）へ入れて台車に積み上げていたが、積み上げが不安定な状態だった事に気付かず出荷室へ移動させようとした際に、BOXがずれてきて、それを支えようとした際にBOXが胸に当たり骨折した。	56 ～ 49
5	8～9	派遣先工場内において屋内資材置き場片付け中、畳んだ段ボール10枚を束にしたもの（重さ約5kg）を所定の位置に運んでいたところ、両手で持ったダンボールを置き場に置こうと前かがみになった際、腰に痛みが走った。	30 ～ 44 ～ 49
5	14～ 15	洗浄室コンテナ搬入口で作業していたところ、別の労働者が移動させていたコンテナに右足が巻き込まれ、右足腱を損傷した。	30 ～ 44 ～ 49
6	9～ 10	検収室内で下処理の作業中、台の上に乗った開缶済みのたけのこ水煮缶を、両手に持って移動させようとしたところ、缶が手から滑り、落下させてしまう。その際に缶のギザギザの蓋で指を4本切ってしまう。	47 ～ 9
6	11～ 12	工場内で、商品の箱詰め作業前のラベルチェックをしている際、社員に管理表との照合作業をしてもらおうと呼びに行く時、作業場内に置いてある商品が積まれたパレットに躓き、転倒を防ごうと出した右手で商品の入っている箱を突いてしまった。	50 ～ 54 ～ 99
6	10～ 11	当工場地下1階調整室で、ひじきご飯入容器（12kg位）を作業台（1m20cm程）の上に載せようとして持ち上げた時、肩に痛みがきた。痛み止めと湿布薬で治療が続けたが痛みが取れない為、MRIを受診したところ、右肩腱板断裂と診断され、その後、入院・手術をし退院した。	300 ～ 69 ～ 499
			30

6	15~ 16	工場内シンクで、食器を洗浄してコンテナに入れ、そのコンテナを下（足元）に降ろそうとした時、右腕が突然痛くなった。	70 ~ 49
6	9~ 10	自社所有の茶畑で、刈り取った青芽（10~15kg程）を運んでいる際、左足に痛みを感じ、疲労骨折が判明した。茶畑の足元は傾斜地であった。	15 1~ 9
6	15~ 16	工場顆粒包装課Cチーム具材ラインの段ボール手詰作業中に、応援で中箱折り作業を行い、中箱折り作業から、段ボール手詰作業へ戻る途中、足を滑らせたため身体が倒れないよう、保管中の段ボールの上に手をついた。	100 63 ~ 299
6	13~ 14	食品製造工場において、食肉の解凍作業場から加工場へ台車を使用し食肉を運搬する際、台車の車輪が滑ってしまい、積載していた食肉が入ったケースが左足外側へ落ち、左足小指を不全骨折した。	300 28 ~ 499
6	11~ 12	学校給食センターにて、各学校の食器・食缶を入れたコンテナを2tトラックの荷台に2人1組で前後になり積み込む際、トラック荷台の開閉扉の半分が閉じた状態になっていたことに気付かず、後ろ向きに下がりながらコンテナを引っ張った為、開閉扉とコンテナに身体ごと挟まれた。その際、開閉扉の取っ手部分の出っ張り強く左肩を打撲したため、左手があがらなくなった。	30 66 ~ 49
7	11~12	冷蔵庫内で冷凍鶏肉1箱（12kg）をパレットからカゴに移し替える作業をしていたところ鶏肉を持ち上げた際に腰を痛めた。	50 31 ~ 99
7	19~20	会社工場内センター2階にてコンテナに入った豆腐を台車に積み運ぼうとした際にコンテナが崩れバランスを崩し、被災者も前方へ転倒した。	100 46 ~ 299
7	10~11	工場内で食品加工作業中、ざるに入った食品（重量約15kg）を急に持ち上げたところ、腰に激痛がして動けなくなった。	100 61 ~ 299
7	13~ 14	包装室において包装機のロール交換の準備中に、包装機横に積まれた交換用のロール（18kg）の芯の内側に貼られたロット番号を確認するためロールをひっくり返した際、下のロールとの間に指をはさみ負傷した。	50 25 ~ 99

7	10~ 11	1階畜産原料庫にて、牛肉ミンチ材（27.2kg）を開梱して、専用カーゴ車に段積みしているとき、腰に無理な負荷が掛かってしまい、腰を捻り、背骨に痛みが発生した。	38	500 ~ 999
7	8~9	工場の炊飯室において、冷却後の舎利の積み替え作業のとき、6段目の舎利バツカンを積み上げた際、踏ん張った左足に違和感があった。作業を続けるが痛みが増したため受診したところ、骨折と診断された。	46	300 ~ 499
7	10~ 11	食器の洗浄をしているとき、使用後の食器をつけるための水が入った大きなトレーを持って水を流そうとした際、急に腰が痛くなった。	38	10 ~ 29
7	9~ 10	事業所（蔵）の駐車場で、車から荷物（醤油やみその製品、15kg程度）を降ろすとき、腰に痛みがあり動けなくなった。	33	1~ 9
9	8~9	配膳先にて、配送車へコンテナ回収している時、トラックのテールゲートとコンテナの間にはさまれ腰を打った。腰に痛みが出た。	66	30 ~ 49
9	9~ 10	食品工場1F包装室小麦がセットライン製品搬送ラインで、不良品を発見し梯子（5段）を上り、ステージ上で動いているコンベアから製品（15kg）を、持ち上げた時に、左足に負荷がかかり左ひざを負傷した。	61	100 ~ 299
9	12~ 13	サラダ室において、ミキサーを使用し、野菜などを混合する作業（ミキシング）がある、番重（コンテナ）を含め、約12kgの具材を胸の高さまで上げ、数種類をミキサーに入れ、混合後は、具材を番重に分けて入れていき（番重含め約17kg）、積み上げていく作業で、9月に入ってから週2回が週5回に増えた。重量特物を持つため、今年4月頃より腕に痛みがあり、ミキシングの作業をする回数が増えたことで悪化、9月下旬には両腕に痛みがあり、指先に力を入れて物を持つことができなくなった。	56	100 ~ 299
9	11~ 12	冷蔵庫内でピッチング作業をしている時に、在庫品から製品をパレットに積み付ける作業を続けていると、腰を痛めて作業ができなくなった。	48	100 ~ 299

9	11~ 12	海苔の手詰作業において一緒に封入するための石灰がなくなったため、新しい石灰ケースを開封しようと、箱の片方を持ち上げテープを外す際に腰の痛みが発生した。	49	10 ~ 29
9	7~8	加工場内で野菜を入れるコンテナ（約1kg）が高く積まれた台車を前に押そうとした際に、積まれていたコンテナが頭に落下し、右頭頂部挫創、頸椎捻挫の負傷した。	55	50 ~ 99
10	14~ 15	検収場で検収後に食材（冷凍食品）のダンボールを持ち上げてしまうときに、腰に痛みを感じた。	23	10 ~ 29
10	13~ 14	製造現場にて段ボール箱に箱詰めされた商品をカゴ車に積んでいる際に箱の下部を持って置こうとした時、カゴの鉄枠部分と商品の間に左手中指と人差し指の根元部分を挟んでしまい、挫傷した。	37	100 ~ 299
10	12~ 13	パレットの上に30kgの玄米袋を7段積み上げ（高さ1m60cm）積み上げた一番上の袋を開ける為に袋を手前に引いた際、左手首を捻り負傷する。	32	30 ~ 49
10	12~ 13	被災者は、明太子製造作業中、他の作業者と一緒に原料の入ったカゴ（縦450mm、横650mm、重さ約24kg）を向かい合わせで持ち上げようとしていた。他の作業者が先にカゴを持ち上げたため、被災者が慌てて持ち上げようとしたところ、バランスを崩してカゴを落としそうになり、持ち直そうと踏ん張った際に腰と左足くるぶし付近を痛めた。	51	30 ~ 49
10	9~ 10	完成した商品を冷凍するために、キャリーケースから冷凍機の上部へ運び上げた時に背中に激痛が走り動けなくなった。病院の診断は、胸椎圧迫骨折のため、3週間の入院。その後も通院が必要のため、約1ヶ月の休業見込み。持ち上げた商品トレーの重さは6kg強であった。	68	50 ~ 99
10	0~1	パン（コンテナ）振り分け時の事故。パンコンテナを所定の場所に置いてまた次のコンテナを取りに帰ろうと振り向いた時に、ヨコにコンテナが有り、コンテナの淵（1cm）部分が右目に当たり眼球（膜）を怪我した。振り向き様、丁度目の高さだったために回避できず怪我をした。	38	100 ~ 299

11	10～ 11	本社工場内でトイレから戻って歩いている時、通路の左側にある里芋が入っているコンテナに躓いて右側の桶に寄り掛かるようにぶつかり、胸の右側の肋骨を骨折した。	72	30 ～ 49
11	18～ 19	ゴミ捨て場で、ゴミの肉を入れた袋（縦100cm×横90cm×高さ100cm、重さ15kg）を持ち上げた際、右膝に力が入り過ぎて外傷後膝関節症を発症した。	28	100 ～ 299
11	9～ 10	事務所で机の間を歩いている時、下に置いてあった箱に躓き転倒、頭に切り傷、左足股関節にヒビが入った。	52	100 ～ 299
11	10～ 11	盛付室（Cライン）で箱取の作業中、積み上げられた製品コンテナ（150cm）を取ろうとしたところ、1個を取ったつもりが下に2つ引っ付いており（合計3個取った事になる）、そのうち下の2個が、約160cmの高さから右足の甲に落下した。すぐに社員に報告し、その日は早退した。翌日も痛みが引かず病院を受診した。	38	100 ～ 299
12	14～15	当工場において、生ラーメンの包装作業中、生ラーメンに添付するダンボールに入ったスープ（重さ15kg、縦20cm、横20cm、長さ60cm）を資材置場から作業台へ搬送しようとしてダンボールを持ち上げた時、手が滑り持ち上げようとしたダンボールと置いてあったダンボールの間に右手を挟んでしまい負傷したものである。その時は痛みもなかったのですがそのまま作業を続けたが、翌日痛みが出てきたので受診した。	27	10 ～ 29
12	9～10	工場1F米置き場において、原料米の整理をしていたとき、フレコン（米の台車）を移動させようとした際にバランスが崩れ、重さ約400kgの米袋が倒れて右足に当たり、骨折した。	58	30 ～ 49
12	10～11	ファクトリー内の開梱エリアで、10kgの冷凍食材が入った箱を開梱中、手が滑って足の上に落とし、左足親指に打撲を負った。	58	300 ～ 499
12	11～12	出来上がった棒寿司をプレートに20本並べ（重さ約7～8kg）、それを16枚収納できるボックスに入れる作業を行っていたときに、腰痛で辛くなったが我慢して作業	62	100 ～

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html